

男女間における性格の現実と理想のギャップについての統計的分析

2001MM044 久野華代

2001MM069 大竹温子

指導教員 松田眞一

1 はじめに

私たちは、就職活動を通して自己分析をするうちに自分の現実像がわかってきた。それとともに、自分が思い描いていた自分の理想像とのギャップが浮き彫りにされていった。そこで、他の人は自分、友達、異性(恋人)についてどのような理想像を持っているのか、また、それぞれの現実像との間でどのようなギャップがあるのか、興味を持った。さらに、性別によって現実像と理想像にはどのようなギャップがあるのだろうかと思い、このことを研究してみようと考えた。

以上のことを調べ、最終的には「こういう人が好まれるのでこういう人をめざそう!!」ということ結論として出したいと考えている。

なお、久野華代が女性の現実像と理想像を、大竹温子が男性の現実像と理想像を調べることを担当した。

2 データについて

女性 95 名 (10 代 10 名、20 代 24 名、30 代 20 名、40 代 30 名、50 代以上 11 名)、男性 79 名 (10 代 13 名、20 代 33 名、30 代 12 名、40 代 10 名、50 代以上 11 名) にアンケートを実施し、友達・異性・自分の現実像と理想像(併せて 6 通り)を回答してもらった。アンケート内容を以下に示す。

● アンケート内容

・性別

・年代(10代から50代以上)

・性格に関する質問(以下15問)×6通り

責任感が強い、頭脳明晰である、自己反省的である、礼儀正しい、思いやりのある、情熱的な、社交的な、困っている人を助ける、夢や目標を持っている、清潔な、素直な、心の広い、クールな、初々しい、あっさりした

* 1つの項目について1:とても当てはまる、2:やや当てはまる、3:どちらともいえない、4:やや当てはまらない、5:全く当てはまらない、の5段階で回答してもらった。(以上[1][2][3]を参照)

3 解析方法

主成分分析、クラスター分析を用いて解析を行った。

* ページの都合上、男女ともに異性の現実像と理想像について述べる。

4 異性の現実像と理想像の特徴

4.1 主成分分析

男女の異性における現実と理想のデータを別に主成分分析にかける。主成分の数は累積寄与率 60%を基準に

し、多いもので第4主成分まで解釈した。各主成分の解釈は、主成分係数の絶対値が0.2以上の項目をもとにし、残りの項目は参考程度に留めた。丸括弧内の数字は各項目の係数を示す。

* 当てはまる=1,2、当てはまらない=4,5としたので、絶対値が0.2以上の項目を取り出して+方向の項目を-方向の意味、-方向の項目を+方向の意味としてそれぞれ解釈をした。第1主成分はどれも全て主成分係数が負で総合評価となった。これは、項目間比較とは関係ないので第2、第3、第4主成分のみ説明する。

* 女性 現実

● 第2主成分(寄与率:0.129 累積寄与率:0.358)

正の軸は「困っている人を助ける(0.298)」「責任感が強い(0.289)」「思いやりのある(0.255)」「頭脳明晰である(0.177)」である。負の軸は「初々しい(0.502)」「クールな(0.471)」「情熱的な(0.344)」「清潔な(0.195)」「素直な(0.188)」「夢や目標を持っている(0.159)」「あっさりした(0.153)」「社交的な(0.110)」である。正の軸は理性的な性格、負の軸は感情的な性格という印象を受けた。よって、この軸は「物事に対して理性的かどうかの軸」と解釈できる。

● 第3主成分(寄与率:0.125 累積寄与率:0.483)

正の軸は「情熱的な(0.445)」「社交的な(0.443)」「夢や目標を持っている(0.353)」「あっさりした(0.103)」「頭脳明晰である(0.101)」である。負の軸は「自己反省的である(0.379)」「素直な(0.364)」「清潔な(0.264)」「礼儀正しい(0.205)」「クールな(0.177)」「心の広い(0.122)」「初々しい(0.103)」である。正の軸は活発な性格、負の軸は大人しい性格という印象を受けた。よってこの軸は「物事に対する行動力についての軸」と解釈できる。

● 第4主成分(寄与率:0.100 累積寄与率:0.583)

正の軸は「あっさりした(0.765)」「クールな(0.318)」「心の広い(0.190)」「頭脳明晰である(0.123)」である。負の軸は「情熱的な(0.315)」「礼儀正しい(0.234)」「清潔な(0.205)」「自己反省的な(0.193)」「夢や目標を持っている(0.106)」である。正の軸は物事に対してあっさり取り組む性格、負の軸は物事に対して丁寧に取り組む性格という印象を受けた。よって、この軸は「物事に対して取り組む態度の軸」と解釈できる。

* 女性 理想

● 第2主成分(寄与率:0.157 累積寄与率:0.462)

正の軸は「自己反省的である(0.319)」「社交的な(0.278)」「素直な(0.242)」「頭脳明晰である(0.211)」「思いやりのある(0.211)」「夢や目標を持っている(0.200)」「清潔な(0.184)」「礼儀正しい(0.182)」「困っている人を助ける

(0.182)「情熱的な(0.177)」「責任感が強い(0.149)」「心の広い(0.136)」である。負の軸は「クールな(0.528)」「あっさりした(0.405)」「初々しい(0.139)」である。正の軸は温かい性格、負の軸は冷たい性格という印象を受けた。よって、この軸は「他人に接する態度を示す軸」と解釈できる。

● 第3主成分(寄与率:0.113 累積寄与率:0.575)

正の軸は「初々しい(0.676)」「情熱的な(0.348)」「心の広い(0.120)」「素直な(0.115)」である。負の軸は「クールな(0.389)」「頭脳明晰である(0.331)」「自己反省的である(0.294)」「礼儀正しい(0.149)」「夢や目標を持っている(0.122)」である。正の軸は行動型の性格、負の軸は思考型の性格という印象を受けた。よって、この軸は「物事に対して行動型かどうかの軸」と解釈できる。

● 第4主成分(寄与率:0.086 累積寄与率:0.661)

正の軸は「あっさりした(0.693)」「社交的な(0.271)」「情熱的な(0.161)」「夢や目標を持っている(0.148)」である。負の軸は「クールな(0.406)」「初々しい(0.349)」「清潔な(0.234)」「礼儀正しい(0.178)」「自己反省的である(0.141)」である。正の軸は活発な性格、負の軸は大人しい性格という印象を受けた。よってこの軸は「物事に対する行動力についての軸」と解釈できる。

★ 男性 現実

● 第2主成分(寄与率:0.140 累積寄与率:0.377)

正の軸は「初々しい(0.562)」「あっさりした(0.485)」「クールな(0.405)」「頭脳明晰である(0.273)」「心の広い(0.244)」「素直な(0.217)」である。負の軸は「社交的な(0.218)」「思いやりのある(0.139)」「困っている人を助ける(0.104)」である。正の軸は自分のことを第一に考えて行動する性格、負の軸は他人のことを第一に考えて行動する性格という印象を受けた。よって、この軸は「自分か他人のどちらを第一に考えて行動するかの軸」と解釈できる。

● 第3主成分(寄与率:0.105 累積寄与率:0.482)

正の軸は「クールな(0.376)」「情熱的な(0.337)」「夢や目標を持っている(0.304)」「初々しい(0.138)」である。負の軸は「素直な(0.562)」「責任感が強い(0.293)」「思いやりのある(0.291)」「あっさりした(0.286)」「心の広い(0.118)」「清潔な(0.114)」「社交的な(0.107)」である。正の軸は革新的な性格、負の軸は保守的な性格という印象を受けた。よってこの軸は「革新的かどうかの軸」と解釈できる。

● 第4主成分(寄与率:0.086 累積寄与率:0.569)

正の軸は「社交的な(0.739)」「心の広い(0.375)」「自己反省的である(0.120)」「あっさりした(0.119)」である。負の軸は「礼儀正しい(0.387)」「清潔な(0.232)」「頭脳明晰である(0.184)」「素直な(0.146)」である。正の軸は活発な性格、負の軸は大人しい性格という印象を受けた。よって、この軸は「物事に対する行動力についての軸」と解釈できる。

★ 男性 理想

● 第2主成分(寄与率:0.163 累積寄与率:0.433)

正の軸は「クールな(0.677)」「あっさりした(0.484)」「初々しい(0.301)」「頭脳明晰である(0.184)」「自己反省的である(0.152)」「社交的な(0.132)」である。負の軸は「素直な(0.193)」「心の広い(0.183)」「思いやりのある(0.166)」「清潔な(0.129)」「礼儀正しい(0.109)」である。正の軸は自分のことを第一に考えて行動する性格、負の軸は他人のことを第一に考えて行動する性格という印象を受けた。よって、この軸は「自分か他人かどちらを第一に考えて行動するかの軸」と解釈できる。

● 第3主成分(寄与率:0.110 累積寄与率:0.543)

正の軸は「あっさりした(0.359)」「社交的な(0.202)」「頭脳明晰である(0.192)」「情熱的な(0.115)」である。負の軸は「思いやりのある(0.125)」「心の広い(0.156)」「クールな(0.105)」「初々しい(0.842)」である。正の軸は物事に対して大人で先のことまで考える性格、負の軸は物事に対して幼く、純粹に受け止める性格という印象を受けた。よって、この軸は「物事に対する考え方が大人か子どもかの軸」と解釈できる。

● 第4主成分(寄与率:0.082 累積寄与率:0.626)

正の軸は「自己反省的である(0.637)」「頭脳明晰である(0.250)」「礼儀正しい(0.202)」「あっさりした(0.118)」である。負の軸は「社交的な(0.568)」「情熱的な(0.289)」「困っている人を助ける(0.183)」「クールな(0.133)」である。正の軸は思考型の性格、負の軸は行動型の性格という印象を受けた。よってこの軸は「物事に対して思考型か行動型かを示す軸」と解釈できる。

4.2 クラスタ分析

第2~第4主成分得点をもとにクラスタ分析を行い、デンドログラムより4~5群に分ける。そして、主成分得点を二次元の散布図にプロットし、散布図より群の解釈をする。

★ 女性 現実

● 第1群(2:感情的3:大人しい4:丁寧)

⇒ 素直な性格の群

● 第2群(2:理性的3:大人しい4:丁寧)

⇒ 真面目な性格の群

● 第3群(2:なし3:なし4:あっさり)

⇒ 物事に対してあっさり取り組む性格の群

● 第4群(2:理性的3:活発4:なし)

⇒ リーダーシップを発揮する性格の群

● 第5群(2:感情的3:活発4:なし)

⇒ 元気な性格の群

★ 女性 理想

● 第1群(2:冷たい3:行動型4:大人しい)

⇒ 臨機応変な性格の群

● 第2群(2:冷たい3:思考型4:なし)

⇒ 何でも一人で考える性格の群

- 第3群 (2:なし 3:なし 4:なし)

⇒ 特に方向性がない群

- 第4群 (2:冷たい 3:行動型 4:活発)

⇒ 何でも一人で行動する性格の群

- 第5群 (2:温かい 3:なし 4:なし)

⇒ 温かい性格の群

★ 男性 現実

- 第1群 (2:自分第一 3:保守的 4:大人しい)

⇒ 引っ込み思案な性格の群

- 第2群 (2:他人第一 3:保守的 4:活発)

⇒ 母性本能を持っている性格の群

- 第3群 (2:自分第一 3:保守的 4:活発)

⇒ わがままな性格の群

- 第4群 (2:自分第一 3:革新的 4:なし)

⇒ 自分のために一所懸命行動する性格の群

- 第5群 (2:他人第一 3:革新的 4:なし)

⇒ 世話を焼く性格の群

★ 男性 理想

- 第1群 (2:他人第一 3:幼い 4:思考型)

⇒ 大人しい性格の群

- 第2群 (2:他人第一 3:なし 4:行動型)

⇒ 世話を焼く性格の群

- 第3群 (2:自分第一 3:なし 4:なし)

⇒ 自分のことを第一に考えて行動する性格の群

- 第4群 (2:なし 3:大人 4:思考型)

⇒ しっかりしている性格の群

5 異性の現実像と理想像のギャップ

群の名前を見てみる。

女性

同じ名前の群は存在しないが、意味としては似ている群は存在している。つまり、異性の性格に関して、ずれが生じている性格もあるが、重なっている性格もあるため、現実と理想の大きなギャップはあるとは言えない。

男性

同じ名前の群は存在し、意味としては似ている群も存在している。つまり、異性の性格に関して、ずれが生じている性格もあるが、重なっている性格もあるため、現実と理想の大きなギャップはあるとは言えない。

6 異性の現実像と理想像を併せた特徴

6.1 主成分分析

女性

- 第2主成分 (寄与率: 0.127 累積寄与率: 0.455)

正の軸は「思いやりのある (0.224)」「困っている人を助ける (0.222)」「責任感が強い (0.182)」「自己反省的な (0.113)」である。負の軸は「クールな (0.633)」「あっさりした (0.491)」「初々しい (0.427)」である。正の軸は温かい性格、負の軸は冷たい性格という印象を受けた。よって、この軸は「他人に接する態度を示す軸」と解釈

できる。

- 第3主成分 (寄与率: 0.091 累積寄与率: 0.547)

正の軸は「社交的な (0.430)」「情熱的な (0.396)」「あっさりした (0.320)」「夢や目標を持っている (0.267)」「頭脳明晰である (0.136)」「困っている人を助ける (0.129)」である。負の軸は「自己反省的である (0.377)」「清潔な (0.306)」「素直な (0.301)」「礼儀正しい (0.225)」「クールな (0.195)」「初々しい (0.171)」である。正の軸は活発な性格、負の軸は大人しい性格という印象を受けた。よって、この軸は「物事に対する行動力についての軸」と解釈できる。

- 第4主成分 (寄与率: 0.084 累積寄与率: 0.630)

正の軸は「あっさりした (0.503)」「頭脳明晰である (0.282)」「責任感が強い (0.248)」「困っている人を助ける (0.205)」「思いやりのある (0.178)」「心の広い (0.127)」「クールな (0.123)」である。負の軸は「情熱的な (0.524)」「初々しい (0.370)」「清潔な (0.173)」「社交的な (0.155)」「夢や目標を持っている (0.143)」である。正の軸は理性的な性格、負の軸は感情的な性格という印象を受けた。よって、この軸は「物事に対して理性的かどうかの軸」と解釈できる。

男性

- 第2主成分 (寄与率: 0.128 累積寄与率: 0.423)

正の軸は「思いやりのある (0.175)」「清潔な (0.128)」「礼儀正しい (0.119)」である。負の軸は「クールな (0.593)」「初々しい (0.564)」「あっさりした (0.451)」「頭脳明晰である (0.175)」「自己反省的である (0.105)」である。正の軸はお嬢様の性格、負の軸は優等生の性格という印象を受けた。よって、この軸は「人から与えられる印象の軸」と解釈できる。

- 第3主成分 (寄与率: 0.088 累積寄与率: 0.511)

正の軸は「社交的な (0.383)」「情熱的な (0.298)」「クールな (0.241)」「頭脳明晰である (0.170)」「夢や目標を持っている (0.155)」「困っている人を助ける (0.141)」「あっさりした (0.138)」「責任感が強い (0.108)」である。負の軸は「素直な (0.515)」「初々しい (0.422)」「心の広い (0.294)」「思いやりのある (0.247)」である。正の軸は活発な性格、負の軸は大人しい性格という印象を受けた。よってこの軸は「物事に対する行動力についての軸」と解釈できる。

- 第4主成分 (寄与率: 0.076 累積寄与率: 0.587)

正の軸は「初々しい (0.487)」「情熱的な (0.253)」「社交的な (0.164)」「夢や目標を持っている (0.139)」である。負の軸は「あっさりした (0.707)」「素直な (0.226)」「責任感が強い (0.214)」「頭脳明晰である (0.126)」「清潔な (0.101)」である。正の軸は感情的な性格、負の軸は理性的な性格という印象を受けた。よって、この軸は「物事に対して感情的かどうかを示す軸」と解釈できる。

6.2 クラスタ分析

女性

- 第1群 (2:冷たい 3:なし 4:感情的)
⇒ 自己中心的な性格の群
- 第2群 (2:なし 3:活発 4:理性的)
⇒ リーダーシップを発揮する性格の群
- 第3群 (2:なし 3:大人しい 4:理性的)
⇒ 真面目な性格の群
- 第4群 (2:温かい 3:なし 4:なし)
⇒ 温かい性格の群
- 第5群 (2:温かい 3:大人しい 4:理性的)
⇒ 視野が広い性格の群

男性

- 第1群 (2:なし 3:大人しい 4:感情的)
⇒ 感受性豊かな性格の群
- 第2群 (2:なし 3:大人しい 4:理性的)
⇒ 控えめな性格の群
- 第3群 (2:お嬢様 3:なし 4:なし)
⇒ お嬢様の性格の群
- 第4群 (2:お嬢様 3:活発 4:感情的)
⇒ 子どもっぽい性格の群
- 第5群 (2:優等生 3:活発 4:なし)
⇒ めりはりのある性格の群

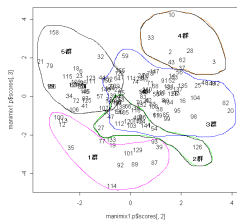


図1 男性：異性の散布図 (第2. 第3主成分)

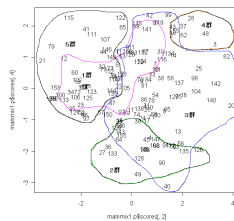


図2 男性：異性の散布図 (第2. 第4主成分)

7 異性で好まれる性格・好まれない性格

先ほどのクラスター分析と散布図より、各群からどの群に推移したのか人数を数える。理想に再帰または移動している人数がある程度以上いれば好まれる性格とした。そうでなければ、好まれない性格とした。

女性

現実と理想が一致している人と一致していない人は約半々という結果になった。好まれる性格は「真面目な性格」「温かい性格」のようになり、好まれない性格は「自己中心的な性格」「リーダーシップを発揮する性格」「視野が広い性格」のようになった。

男性

現実と理想が一致している人と一致していない人は約半々という結果になった。好まれる性格は「お嬢様の性格」「めりはりのある性格」のようになり、好まれない性格は「子どもっぽい性格」のようになった。「感受性

豊かな性格」「控えめな性格」はどちらでもよい性格となった。

8 異性における年代別のギャップ

現実と理想を一緒にしたデータの解釈の中で年代別ではどのような動きをしているのか、その傾向を調べ、違いを見る。

男女ともに、どの年代も傾向は似ていてギャップはあまりないと言える。

9 異性における男女間のギャップ

男女間で、異性に対して理想とする性格において、名前や意味が似ている群が存在しているか調べる。

似ている群は存在しなかった。ということは、男女間で理想の異性として好む性格は全く違うと言える。

10 友達・自分における男女間のギャップ

友達については、似ている群はいくつか存在した。ということは、性別が違っていても理想の友達として好む性格について、重なっている性格があると言える。自分については、似ている群も存在しなかった。ということは、男女間で理想の自分として好む性格は全く違うと言える。

11 おわりに

男女間のギャップについては、友達ではあまりみられなかったが、異性・自分では顕著にみられたため、これらには性別によって性格の考えのギャップがあることがわかった。やはり、性別によって「この性格が理想だ」というものが存在していた。

友達と異性の性格に関しては自分の考えていた(一般的に好まれそうな)結果になったが、自分の性格に関しては意外な性格が好みだという人がいるという結果だった。このことから、友達や異性の事に関しては一般的な性格を求めて、自分の事に関しては個性的になりたい、注目されたいという考えが働き、その中で自分のポジションを確立させたいのではないだろうか。それは男女ともに同じ事がいえるだろう。

これから、社会に出てたくさんの人と出会う機会があるので、この研究の結果を思い出し、良い人間関係を築いていきたい。

参考文献

- [1] Love Dictionary :
<http://www.woman110.com/dic/interest2yes1.htm>.
- [2] Yano Direct Survey : オープンリサーチ,
http://home.yds.com/users/ydsinfo/open_research/open_list.htm.
- [3] 生活情報センター編集部 :
若者ライフスタイル資料集 2004, 文栄社, 2004.